

簡易アプリ設定ツール

AiBuilder

標準メニュー解説



AMEX
Corporation

はじめに

この度はデータコレクタ「BW-220 シリーズ」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
す。

このマニュアルは、AiBuilder アプリケーションの標準メニューの概要と使い方について
解説します。

- ・ 本マニュアルに記載されている製品名および会社名は、それぞれの企業の登録商標または商標です。
- ・ 本マニュアルの著作権はアイメックス株式会社にあります。本マニュアルの一部または全てを無断で使用、複製することは著作権法により禁じられております。
- ・ 本マニュアルの内容および製品仕様に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

目次

はじめに	2
目次	3
本書について	4
AiBuilder アプリケーションについて.....	5
1. BW-220 へのプリインストール.....	5
2. AiBuilder アプリケーションの起動.....	5
3. AiBuilder アプリケーションの動作設定	5
標準メニュー	7
1. 標準メニューの構成	7
2. 操作方法.....	7
機能解説	9
1. 入荷.....	9
2. 出荷.....	9
3. 棚卸.....	10
4. 照合.....	11
5. ファイル送信.....	11
6. バーコードチェッカ	12
7. 終了.....	12

本書について

簡易アプリ設定ツール「AiBuilder」は、BW-220 シリーズに標準搭載されたアプリケーションと、その設定を行う Windows PC 用ツールから構成されます。

Windows PC 用ツールを使うことで、お客様の業務に合わせた機能、入力項目をカスタマイズすることができますが、カスタマイズを行わなくても標準で業務に使用できるメニューを使用することができます。

本書では、AiBuilder アプリケーションが標準で動作するメニューの構成と内容について解説します。

AiBuilder アプリケーションについて

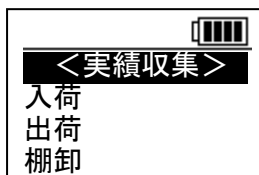
1. BW-220 へのプリインストール

AiBuilder のアプリケーションは、BW-220 の出荷時にプリインストールされています。

2. AiBuilder アプリケーションの起動

BW-220 の電源キーを 1 秒間押し続けることで、BW-220 の電源が ON になります。

出荷時の状態では、BW-220 が起動すると、AiBuilder アプリケーションが起動し、標準メニューが表示されます。



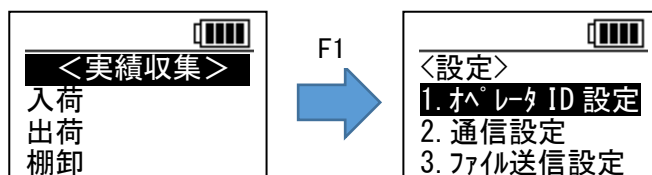
以下のような設定変更を行うと、AiBuilder アプリケーションの標準メニューは起動しなくなります。

- お客様がカスタマイズした AiBuilder 設定ファイルを BW-220 にインストールした時。この時は、AiBuilder アプリケーションは起動しますが、標準メニューではなく、お客様がインストールしたメニューが起動します。
- BW-220 のシステムメニューの「自動実行」の設定で、AiBuilder アプリケーション「AB_APP_OUT」以外を指定した時。この時は、AiBuilder アプリケーションは起動せず、設定された別のアプリケーション、またはシステムメニューが起動します。

3. AiBuilder アプリケーションの動作設定

AiBuilder アプリケーションの幾つかの動作を設定し、変更することができます。

メインメニューで【F3】 + 【F1】 キーを押す（【F3】 キーを押しながら【F1】 キーを押す）と、設定画面が表示されます。



各項目では、以下の設定、操作が可能です。

項目名	説明
オペレータ ID 設定	標準メニューでは使用しません。 WindowsPC 用ツールでカスタマイズすることで、ここで設定した ID をデータレコードに付加することができます。
通信設定	ファイル送受信時に使用する通信デバイスを選択します。(BW-220WL のみ。BW-220CB は USB で固定。) USB、Bluetooth、WLAN から選択できます。
ファイル送信設定	ファイル送信時のファイル名に、システムメニューで設定した端末 ID を付加するか否かを選択できます。
プリンタ設定	標準メニューでは使用しません。
キークリック音設定	キーを押した時に、ブザーとバイブレータを駆動するか否かを選択できます。
ファイル表示	入荷、出荷、棚卸機能で蓄積したデータファイルを表示することができます。
ファイル削除	入荷、出荷、棚卸機能で蓄積したデータファイルを削除することができます。
ファイル送信	入荷、出荷、棚卸機能で蓄積したデータファイルを送信することができます。
ファイル受信	各種ファイルを受信することができます。 データファイルを受信した時は、以降のデータ蓄積にはそのファイルに追加書き込みされます。 マスタファイルとリストファイルは、標準メニューでは使用しません。WindowsPC 用ツールでカスタマイズしたメニューを使用する場合は、そのメニューで使用するマスタファイルとリストファイルを受信できます。 メニューファイルを受信した時は、WindowsPC 用ツールで作成したメニューファイルを受信、インストールされます。以後標準メニューではなく、インストールしたメニューファイルが使用されます。
初期化	AiBuilder の全ての設定を初期化し、またファイルを削除します。

標準メニュー

1. 標準メニューの構成

標準メニューは、以下のような構成になっています。

機能名	概要
入荷	入荷データの収集を行い、ファイルにデータを蓄積します
出荷	出荷データの収集を行い、ファイルにデータを蓄積します
棚卸	棚卸データの収集を行い、ファイルにデータを蓄積します
照合	読み取った2つのバーコードが一致するかどうかを照合します
ファイル送信	入荷、出荷、棚卸で収集した実績データファイルをPCに送信します
バーコードチェッカ	読み取ったバーコードの種類と桁数を表示します
終了	BW-220の電源をOFFにします

2. 操作方法

2-1. キー操作

キー一覧	説明
scan キー	バーコードを読み込む場合に使用します。
カーソルキー(↑↓)	上下キーでフォーカスを移動します。(リスト選択を行う場合に使用します)
enter キー	確定するときに使用します。
clear キー	キャンセルするときに使用します。 編集の場合、全文字を削除します。
F1 キー	データ入力中の場合は作業を中断してメインメニュー画面に戻ります。メインメニュー画面の場合は【F3】キーと一緒に押すことで、設定画面を呼び出します。
F2 キー	文字入力時のバックスペース。 ファイル表示画面では、表示しているレコードを削除。
F3 キー	文字入力のモードを切り替えます。 数字 → 英字の順番に文字の入力方法を切り替えることができます。 英字モードの時には、画面右下に S を表示します。
F3 + ↑ キー	データ入力中の場合で、対象の保存ファイルまたはマスタファイルがあれば、ファイル表示画面に遷移します。
電源キー	電源のON/OFFを行います。
テンキー + *# キー	数字、英字(記号)の入力で使用します。 数字

	<p>ボタンに刻印されている数字が入力されます。</p> <p>英字(記号)</p> <p>キーを押すごとに、入力文字が以下の順に変わって行きます。</p> <p>1 . . . /@:_</p> <p>2 . . . ABCabc</p> <p>3 . . . DEFdef</p> <p>4 . . . GHIghi</p> <p>5 . . . JKLjkl</p> <p>6 . . . MNOmno</p> <p>7 . . . PQRSpqrs</p> <p>8 . . . TUVtuv</p> <p>9 . . . WXYZwxyz</p> <p>0 . . . (半角スペース). /-</p> <p>*# . . . *#</p>
--	---

2-2. スキャナによる入力方法

読み取り口を対象となるバーコードに向けて【scan】キーを押します。

読み取り口はバーコードに正対するように向けます。角度がついていると読み取りにくい場合があります。

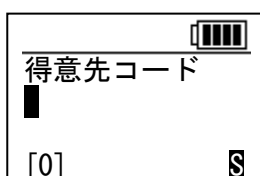


2-3. テンキーによる入力方法

テンキーから数字や英字、記号を入力することができます。

任意の文字列が入力可能な項目では、【F3】キーを押すごとに数字入力モードと英字入力モードが切り替わります。

英字入力モードでは、画面右下に **S** マークが表示されます。

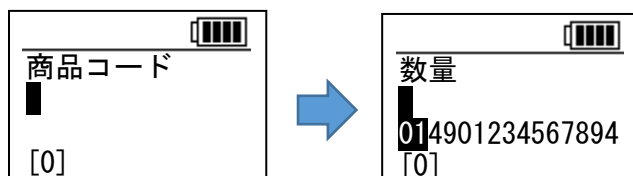


機能解説

本章では、標準メニューの各機能の解説をします。

1. 入荷

入荷機能では、荷物が入荷されたケースを想定し、荷物の商品コードとその数量を入力します。入力したデータは、ファイルに蓄積されます。



1-1. 入力項目

入力名称	入力方法	入力可能データ
商品コード	スキャナおよびテンキー	1桁～255桁の任意の文字列
数量	テンキー	1桁～9999桁の数値

1-2. 保存先データファイル

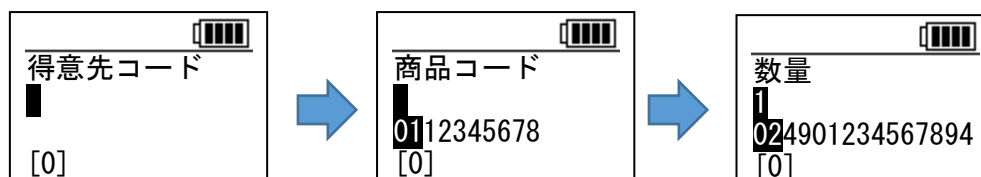
データファイル1（ファイル名：DAT1.TXT）

1-3. データフォーマット

商品コード	,	数量	,	日付 (YYYY/MM/DD)	,	時刻 (hh:mm:ss)	<CR><LF>
-------	---	----	---	-----------------	---	---------------	----------

2. 出荷

出荷機能では、荷物を出荷するケースを想定し、出荷先の得意先コードと荷物の商品コード、その数量を入力します。入力したデータは、ファイルに蓄積されます。



2-1. 入力項目

入力名称	入力方法	入力可能データ
得意先コード	スキャナおよびテンキー	1桁～255桁の任意の文字列
商品コード	スキャナおよびテンキー	1桁～255桁の任意の文字列
数量	テンキー	1桁～9999桁の数値

2-2. 保存先データファイル

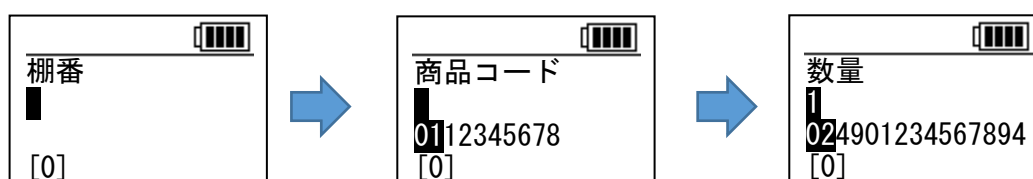
データファイル2（ファイル名：DAT2.TXT）

2-3. データフォーマット

得意先コード	,	商品コード	,	数量	,	日付 (YYYY/MM/DD)	,	時刻 (hh:mm:ss)	<CR><LF>
--------	---	-------	---	----	---	--------------------	---	------------------	----------

3. 棚卸

棚卸機能では、倉庫内の在庫棚卸を行うケースを想定し、棚番と商品コード、その数量を入力します。入力したデータは、ファイルに蓄積されます。



3-1. 入力項目

入力名称	入力方法	入力可能データ
棚番	スキャナおよびテンキー	1桁～255桁の任意の文字列
商品コード	スキャナおよびテンキー	1桁～255桁の任意の文字列
数量	テンキー	1桁～9999桁の数値

3-2. 保存先データファイル

データファイル3（ファイル名：DAT3.TXT）

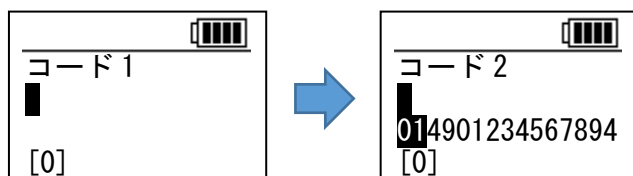
3-3. データフォーマット

棚番	,	商品コード	,	数量	,	日付(YYYY/MM/DD)	,	時刻(hh:mm:ss)	<CR><LF>
----	---	-------	---	----	---	----------------	---	--------------	----------

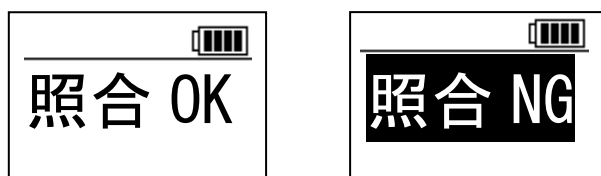
4. 照合

照合機能では、バーコードを2回スキャンし、1回目と2回目のデータが一致するかどうかを照合します。例えば伝票と荷物それぞれに印刷されているバーコードが一致するかどうかを検査するような業務を想定します。

入力したデータは、ファイルには蓄積されません。



照合の結果、一致した場合は「照合 OK」を、不一致だった場合は「照合 NG」を表示します。

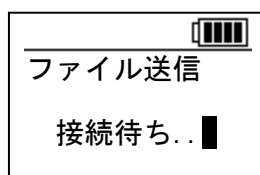


4-1. 入力項目

入力名称	入力方法	入力可能データ
コード 1	スキャナおよびテンキー	1桁～255桁の任意の文字列
コード 2	スキャナおよびテンキー	1桁～255桁の任意の文字列

5. ファイル送信

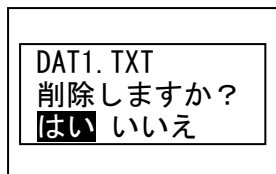
ファイル送信機能では、入荷、出荷、棚卸の各業務で蓄積したデータファイル1～3（ファイル名：DAT1.TXT, DAT2.TXT, DAT3.TXT）を、ホスト PC に送信します。



初期状態では、ファイル送信には USB を使用し、ホスト PC にインストールされている AiSync で受信します。

BW-220WL であれば、USB 以外に、Bluetooth と WLAN も選択できます。USB 以外の通信デバイスを選択したい場合は、標準メニューのトップ画面で F1 キーを押下し、〈設定〉の「2. 通信設定」で選択します。

ファイル送信が成功すると、送信したファイルを削除するかどうかを選択します。



ファイルの削除は、データファイル1~3それぞれで選択します。

6. バーコードチェッカ

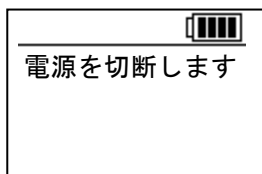
バーコードチェッカ機能では、バーコードをスキャンし、そのバーコードの種類とデータを表示します。

入力したデータは、ファイルには蓄積されません。



7. 終了

終了を選択すると、BW-220の電源をOFFにします。電源キーで電源OFFにするのと同様です。



簡易アプリ設定ツール

AiBuilder

標準メニュー解説

2017年5月10日 第四版発行

Copyright©2016-2017 Aimex Corporation.

アイメックス株式会社